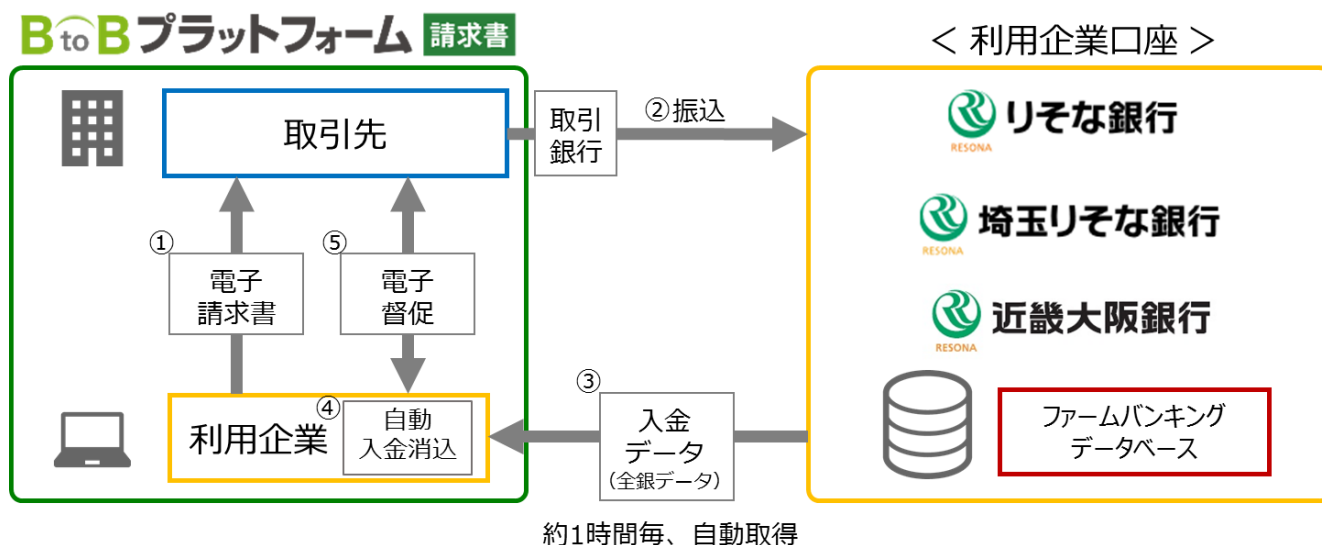


「BtoB プラットフォーム 請求書」 りそな銀行、埼玉りそな銀行、近畿大阪銀行と連携 ～利用企業のさらなる利便性向上を目指し、連携企業を拡大～

株式会社インフォマート（東京都港区 代表取締役社長：米多比 昌治、以下「当社」）は、本日、企業間における請求書の受取・発行業務を紙から電子化する「BtoB プラットフォーム 請求書」がりそな銀行、埼玉りそな銀行、近畿大阪銀行と連携したことをお知らせいたします。これにより、上記 3 行の入金データを自動的に取り込むことが可能になります。

< 全自動で入金データ取得から入金消込・督促まで実行 >



「BtoB プラットフォーム 請求書」の利用企業が所定の書類を上記 3 行に提出すると、指定口座の入金データが約 1 時間おきにプラットフォームと自動連携されます。連携されたデータは学習機能付きの自動入金消込機能により入金消込を行います。請求書に対しての自動消込が行えることで、今まで、経理側が時間と労力をかけ、月初に行っていた消込作業がなくなり、時間短縮・コスト削減につながります。

また、支払期日を過ぎた請求に関しては、督促チャット機能により電子で支払督促の連絡ができ、督促連絡後に振り込まれた際も、自動的に入金データを取得し消込を行うため、迅速な経理業務、時間短縮・コスト削減、月次決算の早期化につながります。

< 「自動入金消込・督促機能」 >

2016 年 8 月 29 日より、3 メガバンクとの連携も開始しています。

詳細ページ：https://www.infomart.co.jp/seikyu/seller/auto-payment&demand.asp?pr_20170921

< 「経営ダッシュボード」で入出金明細情報を確認 >

『自動入金消込・督促機能』を利用している利用企業は、「経営ダッシュボード 入出金明細」で別々の銀行・複数の口座の残高・入出金の推移をまとめて確認することができます。ビジュアルで把握することができ、“迅速な経営判断”にお役立ていただけます。



< 今後の展望 >

今後も、各地方銀行・信用金庫・信用組合等との連携を拡大し、機能強化を図ります。さらに、「BtoBプラットフォーム」で流通する2兆2,942億円（2016年度実績）の商流データ及び「BtoBプラットフォーム 請求書」と金融機関等との連携を強化したBtoB領域における新たな金融サービスを創造し、顧客企業の経営改善、業務効率化を支援してまいります。

< 「BtoBプラットフォーム 請求書」について >

請求書の受取・発行、双方に導入される請求書のプラットフォームとして、現在15万社が利用する、請求業務に関わる時間短縮、コスト削減が実現し、企業の生産性向上につながる仕組みです。取引先が取引先を招待し、世の中の全員が使うことで、社会全体のペーパーレスによるECOが実現します。ISMSの取得など請求書データを取り扱うためのセキュリティ体制も確保しています。

URL: https://www.infomart.co.jp/seikyu/?pr_20170921

< 会社概要 > (2017年6月末現在)

1	会社名	株式会社インフォマート（東証一部：2492）
2	代表者	代表取締役社長 米多比 昌治
3	本社所在地	東京都港区海岸1-2-3 汐留芝離宮ビルディング13階
4	設立	1998年2月13日
5	資本金	32億1,251万円
6	事業内容	BtoB（企業間電子商取引）プラットフォームの運営
7	従業員数	458名
8	URL	https://www.infomart.co.jp/

【本リリースに関する報道関係者様のお問い合わせ先】

株式会社インフォマート

管理本部 広報・IR室 矢内・滝沢 TEL：03-5733-2360（直通）E-mail：im-pr@infomart.co.jp